

旅への いざない

秋は連休も多く、どこかへ出かけるにはぴったりの季節。

そこで今回は、旅を楽しむヒントになるような本や、写真集・紀行文など、思わず旅に出たくなるような本を取り揃えました。

皆さんも、本を片手に旅に出てみませんか。

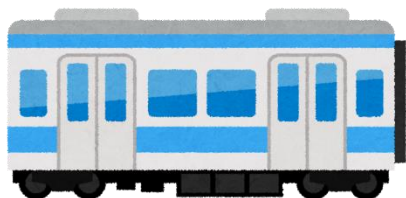
『死ぬまでに行きたい！世界の絶景』

(詩歩／著 ミオブックス 2013年)



トレドの夜景、"天国に一番近い島"ニューカレドニア、スウェーデンにある世界最大のアイスホテル……。同タイトルの Facebook ページから生まれた、世界の絶景をまとめた写真集。

選りすぐりの絶景写真が目を喜ばすだけでなく、プラン例やおすすめの季節、予算、注意点がコンパクトに載っているので、ガイドブックとしても楽しめます。



『新きっぷのルールハンドブック』

(土屋武之／著 実業之日本社 2017年)

割引きっぷはどれほどお得なのか？好みの席を確保するにはどうすればいいのか、あなたは知っていますか？

この本には、きっぷの基本的なルールに加え、お得な使い方、アクシデントへの対応、便利な小ネタまで役立つ情報が盛り沢山。

これで鉄道旅行は怖いものなし！

『名所・旧跡の解剖図鑑 見かたを知れば旅はもっと楽しくなる』

(スタジオワーク／著 エクスナレッジ 2014年)

伏見稻荷大社に配置された色を五行思想から読み解くと……？富岡製糸場の建設に使われた当時最新の技術とは？

日本の名所・旧跡の構造や裏事情をイラストでわかりやすく解説します。



『おくのほそ道 ビジュアル古典文学』

(関屋淳子／文 富田文雄／写真
ピエ・ブックス 2010年)

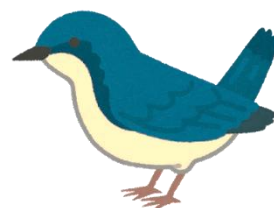
「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也」—そんな有名な序文から始まる「おくのほそ道」は、江戸時代、東北・北陸を旅し俳句を詠んだ松尾芭蕉の紀行文です。

「おくのほそ道」の解説とともに現在の写真も載っており、思わず旅情に誘われます。

松尾芭蕉と同じ道を、あなたも辿ってみませんか。

『旅のついでのバードウォッチング』

(安西英明／著 中野泰敬／写真 オークラ出版 2005年)



旅先で目にした鳥が何なのか知りたい、そんな気持ちにお答えするのがこの本です。

日本の地域や環境、季節別に写真付きで鳥を紹介。出会う頻度の高い鳥を中心に扱っているので、初心者にもオススメです。鳥のしぐさを楽しむポイントも載っています。

平成 30 年 9 月

編集・発行：さいたま市立与野図書館 さいたま市中央区下落合 5-11-11

TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946